

リニア時代を迎える飯伊地域の資源（1）

JR飯田線（1）

新シリーズとして、リニア中央新幹線開通を迎える当地域にはどのような資源があり、どのように育てていくか…。地域の課題や取り組みについて考えたい。

少し前になるが昨年秋、市立飯田中央図書館で「市制80周年記念事業図書館特別資料展 飯田線辰野～豊橋全通80周年」が開催された。昭和12年（1937年）に三信鉄道大嵐駅・小和田駅間が開通し辰野・豊橋駅間が全線開通となってからこの年で80周年を迎えた。奇しくも飯田市の市制施行80周年と重なり、それを記念してであった。

全線開通後、豊川鉄道、鳳来寺鉄道、三信鉄道、伊那電気鉄道による四社体制は昭和18年に国有化されて国鉄飯田線となり今に至っている。飯田線全通に至る逸話として伊原五郎兵衛翁や伊藤大八氏の尽力、建設にかかる川村カネト氏の奮闘など伝わるが、それぞれに取り上げられているので今回はそれはさておき、小欄として飯田線とはどのような特性を持つ路線かを改めて考察してみた。



飯田中央図書館特別資料展「飯田線辰野～豊橋全通80周年」
（平成29年10月28日～11月5日）

1. 地形と地域に寄り添う路線

多くの識者が指摘するように、飯田線の前身の鉄道各路線は、主に民間資金を募って建設が進められたため、直線的な線路を敷く大掛かりな工事ができず、等高線に沿うように敷設する現在の線形の路線となった。また地元要望を基に現在の駅が設置された、とされる。

旧国鉄からの分類の「地方交通線」に属するJRの路線で本州のものをまとめた（下表）。

JR本州地方交通線営業キロ順一覧表

	路線名	起 点	終 点	営業キロ (km)	駅数	平均駅間 距離(km)
1	高山本線	岐阜県 岐阜	富山県 富山	225.8	45	5.1
2	飯田線	愛知県 豊橋	長野県 辰野	195.7	94	2.1
3	芸備線	岡山県 備中神代	広島県 広島	159.1	44	3.7
4	姫新線	兵庫県 姫路	岡山県 新見	158.1	36	4.5
5	山田線	岩手県 盛岡	岩手県 釜石	157.5	28	5.8
6	五能線	青森県 川部	秋田県 東能代	147.2	43	3.5
7	水郡線	茨城県 水戸	福島県 安積永盛	137.5	45	3.1
8	只見線	福島県 会津若松	新潟県 小出	135.2	36	3.9
9	三江線	島根県 江津	広島県 三次	108.1	35	3.2
10	花輪線	岩手県 好摩	秋田県 大館	106.9	27	4.1
11	大船渡線	岩手県 一関	岩手県 盛	105.7	33	3.3
12	大糸線	新潟県 糸魚川	長野県 松本	105.4	42	2.6
13	飯山線	長野県 豊野	新潟県 越後川口	96.7	31	3.2

JR本州地方交通線平均駅間距離順一覧表

	路線名	起 点	終 点	営業キロ (km)	駅数	平均駅間 距離(km)
1	可部線	広島県 横川	広島県 あき亀山	15.6	14	1.2
2	小野田線	山口県 居能	山口県 小野田	11.6	9	1.5
3	飯田線	愛知県 豊橋	長野県 辰野	195.7	94	2.1
4	武豊線	愛知県 大府	愛知県 武豊	19.3	10	2.1
5	桜井線	奈良県 奈良	奈良県 高田	29.4	14	2.3
6	吉備線	岡山県 岡山	岡山県 総社	20.4	10	2.3
7	城端線	富山県 高岡	富山県 城端	29.9	14	2.3
8	身延線	静岡県 富士	山梨県 甲府	88.4	39	2.3
9	氷見線	富山県 高岡	富山県 氷見	16.5	8	2.4
10	加古川線	兵庫県 加古川	兵庫県 谷川	48.5	21	2.4

・JR時刻表から抽出
・三江線は平成30年3月末で廃線

飯田線は路線の長さ（営業キロ）で本州の地方交通線で高山本線に次いで第2位となる。本表ではベスト13まで挙げたが、県内の飯田・大糸・飯山の3線がこの中に入る（小海線は25位78.9km）。この路線キロ数を駅数で割ると平均駅間距離が計算できる。飯田線は営業キロが長い上に駅間距離は2.1kmとたいへん短い。駅間距離ランキングにすると、飯田線は第3位となる。このランキングで他路線は営業キロが10kmから40km台程度、飯田線は、長路線でありながらきめ細かく駅が配置されている路線、ということになる。

この特性、特に複雑な地形に沿った路線線形が飯田線の高速化を難しくしている。

2. 大都市近郊の輸送を担う路線

飯伊地区では想像し難いが、飯田線は東海地方都市近郊の重要交通機関である。豊橋～豊川駅間は複線区間で、朝の通勤時間帯には1時間に片道最多7本の列車が運行して通勤客を運ぶ。しかし、豊川駅より北は単線区間になり、新城駅または本長篠駅までの間は片道1時間最多で4本となる。そこから先は更に本数が少なくなる。



飯田線小坂井駅を発車する列車（豊川駅行き）

3. 首都圏へ向かうための路線

飯伊地区から飯田線に乗って東京へ向かう方は今どき殆どないであろう（中央自動車道経由で茅野駅からの「あずさ」利用は一定数みられるが）。ところが、上伊那地区に居住したことがある郡下男性（63）は、「上伊那の人が東京へ飯田線で行くことは結構ある」という。

- ① 飯田線利用の場合、岡谷駅で連絡。「あずさ」の全列車が停車する。駒ヶ根駅から岡谷駅まで約70分、伊那市駅からは約50分、伊那松島駅から約30分。
- ② 上伊那地区の事業所が出張で利用している。高速バスより定時性に優れる（到着時刻が計算できる）、快適性などから選択されている。
- ③ 駒ヶ岳ロープウェイへ飯田線を利用して来訪する観光客が一定割合ある。行楽期には駒ヶ根駅出札窓口は混雑する。

という現状がある。本号1頁中央道高速バス飯田・新宿線の3月乗車人数は29,392人。1日当たりで948人となるが、上伊那地区から飯田線で東京へ向かう人は1日当たり100人を超える程になるとみられる。

リニア駅周辺整備で飯田線に新設する乗換新駅の検討が進められる。これに関しては上伊那地区の方が熱心のように思われるが、このような上伊那地区住民の鉄道に対する意識が反映されているのでは、と考えられる。

4. 県境地域の生活を支える路線

特急伊那路を利用する際、県境の中部天竜駅、水窪駅、平岡駅などで地域人口を考慮すると相当数の乗降がみられる。これらの地域は、自家用車利用を別とすれば高速バスや一般バス路線の利用は難しく、飯田線が地域の生命線となっている。三遠南信自動車道が全通すれば新たな公共交通サービスが期待できるかといえば、例えば三遠南信自動車道によるバス路線などはかなり難しいのではないか。飯田線がこの地域の生活を支えるという役割は引き続き変わることはないと考えられる。



出馬駅付近（浜松市天竜区佐久間町）

5. 秘境駅を多く抱える路線

秘境駅とは、「駅と集落までの間の距離がある」「駅に車道が通じていない」などいくつかの条件を備えた駅、とされている。鉄道ファンの牛山秀樹氏の整理による全国の「秘境駅ランキング1～50位」（2017年版）によると、50位中、3位小和田駅、4位田本駅、7位金野駅、14位中井侍駅、17位為栗駅、26位千代駅の6駅がランクイン（認定）している。路線別では、飯田線は宗谷本線の11駅に次ぐ2位。3位は大井川鉄道の4駅となっている（発行日現在、<http://hp1.cyberstation.ne.jp/hikyoueki/Top50-2017.html>）。

（飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平）